

## 1 大会招致活動がもたらしたもの

### (1) 国際スポーツ大会の開催

- ▶ 招致活動期間において冬季アジア大会（2017）、ラグビーワールドカップ（2019）、東京2020大会のマラソン・競歩・サッカー競技（2021）などの大規模国際大会が札幌市を会場として開催されるとともに、大会運営能力が大きく向上した。
- ▶ パラスキーワールドカップ（2017、2019、2024）などパラスポーツ大会の開催が実現した。



### (2) 市民・企業等との協働

- ▶ 様々な市民対話事業等を通じ、若者や子どもたちを含む市民にとって、大会招致が将来のまちづくりについて自ら考え意見を述べる機会となった。
- ▶ 企業等と連携した取組や、延べ6万人以上の児童・生徒に実施してきたオリパラ教育を通じ、スポーツの価値や持つ力への理解が深まり、誰もが互いにその個性や能力を認め合い、多様性が強みとなる社会の実現に向けたユニバーサルの考え方が浸透した。



### (3) まちづくりの加速

- ▶ 2030年の大会開催というものがマイルストーンとなり、選手の育成強化が図られるとともに、パラスポーツを含め、広く市民がスポーツに関心を持ち取り組む契機となった。
- ▶ 民間投資が誘発されて都心を中心としたまちづくりが加速するとともに、まちのバリアフリー化が進んだほか、SDGs未来都市として選定された。



## 2 ウィンタースポーツシティの実現に向けた取組

### (1) 裾野拡大に向けた取組

#### ウィンタースポーツの普及振興

子どもたちへのウィンタースポーツのきっかけづくりの充実を図るとともに、市民のウィンタースポーツの観戦文化を醸成していきます。

#### 【主な取組】

- ▶ 中学校や高等学校のスキー学習や小学校の歩くスキー体験へのインストラクターの派遣。
- ▶ 未就学児、小学生、中学生を対象としたウィンタースポーツ実施時の料金を助成。
- ▶ 障がいのある方のウィンタースポーツの裾野拡大を目的とした、バイスキー・シットスキー・チェアスキーなどの指導者養成講習会及び体験会の開催。
- ▶ 大倉山ジャンプ競技場で開催される大会の観戦環境充実への支援。  
 <観戦環境充実の取組例>  
 OMC・DJによる会場の盛り上げ ○選手出演のPR動画の作成



### (2) アスリートの発掘・育成に向けた取組

#### アスリートの発掘・育成・活用

優れた素質を有する子どもたちを早期に見出し、札幌から世界に羽ばたくトップアスリートを育成するとともに、運動部活動やスポーツイベントへのアスリート派遣を実施します。

#### 【主な取組】

- ▶ 小学生から高校生を対象としたアスリートの発掘や、冬季5種目におけるオリンピックの指導等による継続的な選手育成。  
 <育成5種目>  
 カーリング、ノルディックコンバインド、スキージャンプ、スノーボード、フリースタイル  
 <日本代表選出選手（延べ9名）>  
 ノルディックコンバインド 4名  
 スキージャンプ 3名  
 スノーボード 1名  
 フリースタイル 1名
- ▶ ウィンタースポーツ初心者の小学生を対象に、ウィンタースポーツを幅広く体験できる機会を提供。
- ▶ オリンピアンをスポーツイベントや体験会、講習会に派遣。



### (3) ウィンタースポーツによるまちの活性化

#### 国際スポーツ大会の開催・誘致促進

新たなウィンタースポーツ人口の創出やウィンタースポーツ都市としてのブランドを高めるため、今までの大会開催により蓄積された経験をいかし、国際大会の開催・誘致に取組みます。

#### スノーベースタウンSAPPOROの取組推進

札幌・定山溪をスキーヤーのベースタウンとし、インバウンド向けコンテンツの開発やモニターツアーなどを実施します。

#### ナイトクロカン事業

冬の観光コンテンツとして、クロスカントリースキー体験の夜間営業とイルミネーション演出を一体的に体験できるエリアを設置します。

#### オリンピック・パラリンピック教育推進事業

子どもたちがスポーツの意義や価値、他者との共生等への理解・関心を深めるとともに、札幌オリンピックの歴史や伝統を学び、「ふるさと札幌」を愛する心を育成します。

### (4) ウィンタースポーツ環境の整備

ウィンタースポーツに関する環境の向上や施設の機能向上、民間施設の整備支援などを行います。

#### 【主な取組】

- ▶ 美香保体育館や月寒体育館の更新、大倉山ジャンプ競技場の改修。
- ▶ ウィンタースポーツ施設を民間企業等が整備する際に、整備費の一部を補助。

<更新・改修後の施設機能（案）>

美香保体育館  
カーリングリンク  
スケートリンク など

月寒体育館  
スケートリンク など

大倉山ジャンプ競技場  
国際競技規則に合わせた改修 など

ユニバーサル（共生）

ウェルネス（健康）

スマート（快適・先端）



世界屈指のウィンタースポーツシティの実現へ

誰もが身近なところでウィンタースポーツを楽しむことができる環境が充実しているとともに、札幌市で育ったウィンタースポーツのアスリートが国内外で活躍しており、ウィンタースポーツの大規模な国際大会が開催されることで世界から注目を集めているまちを市民・競技団体・民間企業との協働により目指します！